参考２「安全計画策定要領（例）」

（基本的な作成の流れ）

〇　施設が、年度ごとに、当該年度が始まる前に、安全確保に関する取組を計画的に実施するための年間スケジュールとして「安全計画」を定めます。

〇　安全計画には「施設の設備等の安全点検」「施設内外（園外活動等を含む）での活動、取組等における安全確保のための職員及び児童に対する指導」「職員への各種訓練や研修等」などを盛り込んで策定してください。

〇　また、安全計画の作成に当たっては、「いつ」「何をすべきか」を整理し、必要な取組みを安全計画に盛り込んでください。

〇　以上の一連の対応を実施することをもって認可外保育施設（届出保育施設）における安全計画の策定を行ったこととなります。

〇　具体的な「安全計画」のイメージは、事務連絡別添資料４「保育安全計画例」及び別添資料５「認可外保育施設が行う児童の安全確保に関する取組と実施時期例」を参考に作成してください。

〇　なお、既に各施設において独自に「安全計画」にかわるものを作成している場合には、「保育安全計画例」の内容が網羅されていることを確認いただき、不足する部分などがあれば見直しをお願いします。

**保育所安全計画例**

【ポイント】

・年度ごとに当該年度が始まる前に作成

・安全確保に関する取組を計画的に実施するための年間スケジュールとして「安全計画を作成」

（別添資料４）

◎安全点検

（１）施設・設備・園外環境（散歩コースや緊急避難先等）の安全点検

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 |
| 重点点検箇所 |  |  |  | 【記載例】※各施設が施設・設備・園外環境の安全点検について、各月の計画（年間スケジュール）を記載・施設設備の日常点検（〇〇保育士／日常点検）　・散歩コースの点検（〇〇保育士／随時確認）・緊急避難先の点検（避難誘導担当保育士／〇月避難訓練時）　・防火設備の点検（事務員／消火訓練時）・園外保育（公園）の点検（〇〇保育士／〇月遠足前に実施）　・施設外壁の保守点検（園長／〇月中旬） |  |  |
| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 |
| 重点点検箇所 |  |  |  |  |  |  |

【ポイント】

・各施設が作成しているマニュアルや手順書について記載。例示しているもの以外で作成しているものについては、行を増やして追加してください。

・例示してあるもので、マニュアルや手順書として作成がないものについては、策定予定の時期を記載してください。

・各マニュアルは、職員全員が把握できるように掲示や管理場所を明確にしてください。

【各種マニュアルの見直しにおいて】

・各マニュアルの見直しにおいては、「児童の動きを把握するための役割分担」や「リスクが高い場面ごと（午睡、食事、プール、園外活動、バス送迎など）で職員が気を付けるべき点や役割分担を明確化する」などの視点で児童の安全確保の観点から、不足することがないか定期的に点検してください。見直しを実施した場合には、必ず全職員に共有することが必要です。

・登園、降園など日常的な保育であっても、職員一人ひとりの認識の祖語によっては、思わぬ事故に発展することもあります。共通理解を図るうえで、マニュアルや手順書として可視化することが有効です。

（２）マニュアルの策定・共有

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 分野 | 策定時期 | 見直し（再点検）予定時期 | 掲示・管理場所 |
| 重大事故防止マニュアル | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |  |
| * 午睡
 | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |  |
| * 食事
 | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |  |
| * プール・水遊び
 | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |  |
| * 園外活動
 | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |  |
| * バス送迎（※実施している場合のみ）
 | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |  |
| * 降雪（※必要に応じ策定）
 | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |  |
| 災害時マニュアル | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |  |
| 119番対応時マニュアル | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |  |
| 救急対応時マニュアル | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |  |
| 不審者対応時マニュアル | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |  |
|  |  |  |  |

◎児童・保護者に対する安全指導等

（１）児童への安全指導（保育所の生活における安全、災害や事故発生時の対応、交通安全等）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~３月 |
| 乳児・１歳以上３歳未満児 |  |  | 【ポイント】（児童への安全指導）・児童の発達や能力に応じた方法で、児童自身が施設での生活における安全や危険を認識すること、災害や事故発生時の約束事や行動の仕方について、各施設の取組を記載。 |  |
| ３歳以上児 |  |  |  |  |

（２）保護者への説明・共有

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~３月 |
|  |  |  | 【ポイント】（保護者への説明・共有）・安全計画や園が行う安全に関する取組の内容を保護者に対し、説明・共有することが必要です。（記載例）・登園、降園の際の保護者へのお願いを再確認（園便り／〇月）　・アレルギー食対応のための保護者との連携（園便り／各月）・感染症予防のための園の衛生管理方針等（HP掲載／〇月）　・家庭での安全を学ぶ機会確保の依頼（保護者会／〇月）・発生したヒヤリハットや事故報告の案件分析と再発防止策（園内掲示板、HP／随時）　　　　　など |

◎訓練・研修

（１）訓練のテーマ・取組

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 |
| 避難訓練等※１ |  |  |  | 【ポイント】・避難訓練は、地域特性に応じた様々な被害も想定して行うこと。・救急対応の訓練、研修は、実技講習を定期的に受講すること。（全員受講が困難であっても、施設内で実技講習の受講者が１人もいない状態は避けること。）・安全に関する研修、訓練においては、オンラインで共有されている事故予防に関する研修動画なども活用し、全職員が受講すること（記載例）・避難訓練（火災）　・消火訓練・不審者対応訓練　・救急対応訓練（心肺蘇生法）　など |  |  |
| その他※２ |  |  |  |  |  |  |
| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 |
| 避難訓練等※１ |  |  |  |  |  |  |
| その他※２ |  |  |  |  |  |  |

　※１　「避難訓練等」・・・設備運営基準第６条第２項の規定に基づき毎月１回以上実施する避難及び消火に対する訓練

　※２　「その他」・・・「避難訓練等」以外の119番通報、救急対応（心肺蘇生法、気道内異物除去、AED・エピペン®の使用等）、不審者対応、送迎バスにおける見落とし防止等

（２）訓練の参加予定者（全員参加を除く。）

|  |  |
| --- | --- |
| 訓練内容 | 参加予定者 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

（３）職員への研修・講習（園内実施・外部実施を明記）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~３月 |
|  |  |  |  |

（４）行政等が実施する訓練・講習スケジュール　　※所属する自治体・関係団体等が実施する各種訓練・講習スケジュールについて参加目途にかかわらずメモする

【ポイント】

・実施年度前に作成する関係で、訓練・講習スケジュール等未定である場合などは、随時情報を集め更新してください。

|  |
| --- |
|  |

◎再発防止策の徹底（ヒヤリ・ハット事例の収集・分析及び対策とその共有の方法等）

|  |
| --- |
| 【ポイント】・ヒヤリ・ハット事例を収集し、発生した事案の要因分析と必要な対策を講じ、職員間で共有する仕組みを記載。・要因分析や再発防止策の内容によっては、必要に応じて、日常の施設設備の安全点検箇所や各マニュアルを見直すことまで検討すること。 |

◎その他の安全確保に向けた取組（地域住民や地域の関係者と連携した取組、登降園管理システムを活用した安全管理等）

【ポイント】

・地域との連携や、ICTを活用した取組など、安全確保に向けた各施設の取組や方針があれば記載。

|  |
| --- |
|  |